

令和5年度 学校自己評価

認定こども園こどもむら 栗橋さくら幼稚園

目指す子ども園像	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達に未来を切り拓く能力を育む</li> <li>保育者も共に学び、成長していくこども園</li> <li>地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園教育保育要領に沿い、子どもの様子から保育過程を見直し、未来を切り拓く力を育む。</li> <li>保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。</li> <li>地域と協働し、子ども・子育ての環境を広げていく。</li> <li>保健衛生及び安全管理に取り組み、安心安全な保育環境に努める。</li> </ul>

番号	観点	具体的評価内容	評価	
			評価	意見や改善策等
			4 十分達成できている 3 達成できている 2 あまり達成できていない 1 達成できていない	
1	園の教育・保育目標	本年度の本園の重点目標を念頭にして教育活動に取り組む	3.5	毎月、学年ごとに振り返りを行い、全学年の内容を共有するようにした。改善点を柔軟に取り入れるようにしている。
2	保育環境	園児が日々チャレンジできる環境づくりに取り組む	3.7	子ども一人一人の感性や関心を大事にすることができた。園内研修で環境作りの研修を行い、日々見直しを行っている。
3	健康な身体	見通しをもって行動し、健康で安全な生活を送る	3.7	日々の生活の中で一日の流れを知り、見通しをもって生活できた。たくさん体を動かすことで自然と体力もついている。
4	健やかなこころ	園における生活の中で充実感を持って自分のやりたいことをする	3.7	子どもたちが安心して、やりたいことができる環境を整える準備を心掛けた。
5	人間関係	相手の気持ちに共感し思いやりの気持ちを持ち、接する	3.6	「なかよしの日（異年齢交流）」を年間通して行うことで、優しい気持ちや社会性、協調性を育むことができた。
6	言葉	自分の意見を伝え相手の話を聞き理解する	3.6	生活、遊び、行事の中で多く子どもたちの言葉を伝え合う喜びを感じ、共感する場を作るようにしている。
7	表現	感じたことや考えたことを自分で表現する喜びを味わい、意欲を持つ	3.7	子どもたちが素直に安心して取り組める経験と環境を整え、好奇心をもって楽しんで活動することができた。
8	知識及び技能の基礎	いろいろな体験を通して感じたり気づいたり分かったりできるようにする	3.7	5歳児の米とぎでは失敗と成功を繰り返しながら、数量を学んだ。卒園制作の竹馬作りでは1年間を通してのこぎりを使うことを経験した。
9	思考力、判断力の基礎	気づいた事や出来るようになった事を考え、試し、工夫し、表現したりする	3.6	子どもたちが自発的に活動できるよう、じっくり時間をとって過ごせた。幼児クラスの発表会では様々な表現を見せることができた。
10	主体性、学びに向かう力の基礎	身近な環境に主体的に関わり、心情、意欲、態度が育つ中で生活をする	3.6	食育、行事、当番活動などを意欲的に取り組むことで自己肯定感を高めながら生活することができた。
11	安全・安心	避難訓練、交通安全、防犯、お散歩マップを作成し安全指導に取り組む	3.8	避難訓練計画をもとに毎月様々な訓練が行い、バスの置き去り事故防止の訓練も行った。交通安全まなび隊に来ていただき、年齢に合わせた安全教室を行った。
12	小学校との接続 (5歳児のみ)	近隣の小学校へ訪問し、学童と交流をして小学校への期待が高まるように準備する	3.5	公開保育、学校評議会で子どもの姿を見てもらっている。栗橋小学校への訪問は回数を増やすことができ、実際に小学校に行くことで期待が深めることができた。
13	保護者支援・子育て支援	一時預かりや保護者懇談会、栄養、健康相談に取り組む	3.7	一時預かりを利用した方が入園に繋がっている。保護者に保育士体験をしてもらうことで関係が深まり、園の保育への理解も深まった。
14	地域との協働	子ども子育て関係の情報発信や地域貢献に取り組む	3.6	週に1回の未就園児クラスではイベントを行い、その都度悩み等の相談を行っている。
15	職員の成長	職員研修の充実と働き方の改善に取り組む	3.8	有給消化はほぼ100%。ノンコンタクトタイムが取れるようし、保育活動以外の業務が進められるように取り組んだ。